（その三）

工場又は事業場の名称	桜宮化学株式会社 東京工場

（２）　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
5 ¦ 3	9 ¦ 1	2 ¦ 1	3 ¦ 2	¦	¦	¦	¦	¦	¦

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
5 ¦ 3	9 ¦ 1	2 ¦ 1	3 ¦ 2	3 ¦ 1	¦	¦	¦	¦	¦

（その三）

工場又は事業場の名称	タカラスタンダード（株） 関東第一工場

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 1	2 2	3 4	5 3	9 1	9 4				

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考 ３(２)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 1	2 2	3 4	5 3	9 1	9 4				

（その三）

工場又は事業場の名称	タカラスタンダード（株） 関東第二工場

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 1	2 2	3 4	5 3	9 1					

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考 ３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 1	2 2	3 4	5 3	9 1					

(その三)

工場又は事業場の名称	信和産業株式会社 本社工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	5 6	9 1							

その他（19，29，39，49，59，99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　3（2）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	5 6	9 1							

(その三)

工場又は事業場の名称	住友大阪セメント株式会社 高機能品事業部　市川事業所

（２）　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2　1	2　2	5　2							

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

昨年度と同様、下記を行います。
・洗浄処理後は速やかに揮発性有機化合物を密閉容器に戻し、不要に排出しないよう努めます。
・スクラバーを用いることで揮発性有機化合物が外部に排出しないようにします。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2　1	2　2	5　2							

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 ホリキリ 本社八千代工場

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 1	2 2	9 1							

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考 ３(２)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10

(その三)

工場又は事業場の名称	朋和産業株式会社 八千代工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 2	2 1	3 1	5 4	5 5	9 1				

その他（19，29，39，49，59，99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　3（2）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 2	2 1	3 1	5 4	5 5	9 1				

（その四）

工場又は事業場の名称	朋和産業株式会社 八千代工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成１２年度
使用量 (kg／年度) （1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	920000. ×10
排出等の量 (kg／年度)	830000.
処理回収率 (%)	9.8

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）
0

備考

1　この項の提出は任意であること。
2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。
3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。
{（使用量－排出等の量）／使用量}×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
12	21	31	54	55	91				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	日鉄鋼板株式会社 東日本製造所　市川地区

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	5 1	5 6							

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	5 1	5 6							

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社日立産機システム 習志野事業所

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
1 1	1 2	2 2	2 9	9 4	9 9				

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

対策４について
塗料調合時のビニール袋保護による容器の洗浄回数低減化を行います。
対策６について
ワニス・溶剤を多量に使用する製品の製造を終了します。
塗装吊り具の鉤にフッ素コート保護を実施し洗浄シンナー削減を行います。

備考 ３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
1 1	1 2	2 2	2 9	9 4	9 9				

（その三）

工場又は事業場の名称	株式会社パールイデア パールデポ関東流通センター

（2） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（1）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1 9	2 1	2 2	2 3	2 9	3 3	5 2	9 1	9 4	

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

・有害物質を含有しない塗料を使用し抑制に図る
PRTR対象物質を含有しない溶剤と塗料を主に使用し環境負担軽減
・有害物質を含有する溶剤と塗料の大幅削減によって環境負担軽減
・同色、同系色を選択することで塗料の使用量を軽減
・輸入生産分を製品にて入荷させることにより、塗装をなくすことで塗料の使用
環境負担を軽減させる
・透けやすい塗料（原色系）は、隠蔽力を向上させ工夫し、不透明な類似色を
下塗りにし、塗装工程を緩和と塗料の使用料を削減
・返却物の処理方法を改善、再利用を目的に養生を徹底させて塗装なしでの出荷
を増やし、溶剤と塗料の使用量と開放時間を軽減させた

備考 3（2）に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（1）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1 9	2 9	9 4							

（その三）

工場又は事業場の名称	京成自動車工業株式会社 京成自動車工業株式会社

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
1 1	2 1	2 2							

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考 ３(２)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
1 1	2 1	2 2							

(その三)

工場又は事業場の名称	東邦シートフレーム株式会社 八千代事業所

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 1	2 2	3 3	5 4	5 6	9 1				

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考 ３(２)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 1	2 2	3 3	9 1	5 6	5 4				

（その四）

工場又は事業場の名称	東邦シートフレーム株式会社 八千代事業所

３　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成12年度
使用量（kg／年度）（１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	4400000. .
排出等の量（kg／年度）	1400000.
処理回収率（%）	68.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)	

備考

１　この項の提出は任意であること。

２　基準年度は、２(１)の基準年度と一致させること。

３　使用量及び排出等の量は、２(１)の基準年度におけるものと一致させること。

４　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。

｛(使用量－排出等の量）／使用量｝×100

（２）　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
21	22	91	56						

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

平成１１年４月に事業所内で最もＶＯＣ排出量の多い施設に排出ガス処理施設（蓄熱式脱臭装置）を導入し、排ガス中のＶＯＣ成分を酸化分解処理することで事業所全体のＶＯＣ排出量を約７割にし、平成２４年及び２６年の設備更新時にも排出ガス処理施設（脱臭装置）を導入した事でＶＯＣ排出量を更に大幅に削減しております。 その他の設備においては、溶剤管理の徹底、作業の効率化を実施し、歩留まりの改善を、維持して取り組み、製品に対するＶＯＣ排出量（原単位　kg/ｔ）を毎年削減しています。

備考　この項の提出は任意であること

(その三)

工場又は事業場の名称	丸善株式会社 京葉油槽所

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3 1									

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策31：施設の密閉化等の施設からの蒸発防止策

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3 1									

（その三）

工場又は事業場の名称	株式会社　竹中製作所 本社工場

（２）　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
21	22								

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
21	22								

(その三)

工場又は事業場の名称	アズマプレコート株式会社 市川工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 2	2 3	3 1	5 4	9 1	9 2				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 2	2 2	2 3	3 1	5 4	9 1	9 2			

(その三)

工場又は事業場の名称	神東塗料株式会社 千葉事業所

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	1 3	2 1	2 3	9 1				

その他（19，29，39，49，59，99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　3（2）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	1 3	2 1	2 3	9 1				

(その三)

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 高浜油槽所

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
３ １	４ ９								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策2：屋外ﾀﾝｸ貯蔵所の塗装色をｼﾙﾊﾞｰ色から白色に変更し呼吸ﾛｽ量を削減させる。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10

(その三)

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 市川工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	3 2	4 9	5 1	5 2	4 9	3 1	5 2	3 9	

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策１：＊ﾍﾞﾝｾﾞﾝの使用を廃止した。
対策２：＊蒸留装置＃2300のｺｰﾙﾄﾞﾄﾗｯﾌﾟの位置の見直し。（済）
＊蒸留装置＃3400の第2ｺﾝﾃﾞﾝｻｰを新設した。（VOCの削減）（済）
＊3系ﾁﾗｰ装置の負荷の見直し。（負荷の分散を計画中：現状調査）（済）
＊蒸留装置の第2ｺﾝﾃﾞﾝｻｰとしてｺｰﾙﾄﾞﾄﾗｯﾌﾟを2基増設し、VOCを効率よく補足した（済）
対策３：＊屋外ﾀﾝｸのﾄﾞﾚﾝﾎﾟｯﾄ取り付け。TK-622、623ﾀﾝｸの遮温塗装。（済）
＊屋外ﾀﾝｸにﾍﾞｰﾊﾟｰﾘﾀｰﾝ配管を設置した。（済）
対策４：屋外ﾀﾝｸのﾌﾞﾘｰｻﾞｰﾊﾞﾙﾌﾞ及びｴｽﾃﾙ中和釜のﾍﾞﾝﾄから排出されるガスを吸着除去するため
遊休としていたPSAを再稼動した。（済）
対策５：ｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ製造時のｵﾌｶﾞｽ対策としてﾃﾞｨｯﾌﾟ式吸収塔を設置した。（済）
対策６：屋外ﾀﾝｸにﾍﾞｰﾊﾟｰﾘﾀｰﾝ配管を設置した。（済）
対策７：H25年度、廃液ﾄﾞﾗﾑに局所排気ﾀﾞｸﾄを設置した。（済）
対策８：H25年度、各種ｽｸﾗﾊﾞｰ内の封水pHを11以上に管理した。（済）
対策９：H26年度、PSA稼働ﾃｽﾄ実施（継続）、ｷｰﾊﾟｰﾌﾞﾘｰｻﾞｰを一部設置した。（済）
H27年度、PSA洗浄ﾃｽﾄ実施した。（済）
H28年度、ｷｰﾊﾟｰﾌﾞﾘｰｻﾞｰ3基設置(TK-15・604・611)した。（済）
対策２：H27年度、夏場のﾀﾝｸ散水（2基）を実施している。（済）
対策９：PSAの真空ポンプの更新、シリカゲル、活性炭の更新をした。（済）
対策１：H29年度、トルエンの販売を中止した。（済）
対策１：R01年度、酢酸-n-ヘキシルの生産を中止した。（済）

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	3 2	4 9	5 1	5 2	4 9	3 1			

（その三）

工場又は事業場の名称	株式会社ヨドコウ 市川工場

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
２ １	２ ２	５ ６							

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

対策１について
塗料、シンナーのフタ閉め、漏れ防止による溶剤管理の徹底
対策２について
製品品質安定化による塗料使用量の低減実施
対策３について
蓄熱式除去装置の安定運用

備考 ３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
２ １	２ ２	５ ６							

（その四）

工場又は事業場の名称	株式会社ヨドコウ 市川工場

３　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（１）　基準年度における処理回収率等

	基準年度
	平成１２年度
使用量（kg／年度）（１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	3800000.
	×10
排出等の量（kg／年度）	2400000.
処理回収率（%）	94.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

備考

１　この項の提出は任意であること。

２　基準年度は、２(１)の基準年度と一致させること。

３　使用量及び排出等の量は、２(１)の基準年度におけるものと一致させること。

４　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。

｛(使用量－排出等の量）／使用量｝×100

（２）　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
21	22								

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考　この項の提出は任意であること。

（その三）

工場又は事業場の名称	ＥＮＥＯＳ㈱ 市川油槽所

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1	5 1								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1	5 1								

（その四）

工場又は事業場の名称	ＥＮＥＯＳ㈱ 市川油槽所

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成１２年度
使用量 (kg／年度) （１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	7.2×10⁸
排出等の量 (kg／年度)	8500
処理回収率 (%)	100.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数 （基）
3

備考

1　この項の提出は任意であること。
2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。
3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。
{（使用量－排出等の量）／使用量}×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
41	51								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　この項の提出は任意であること。